

第19期第1四半期業績のご報告 (平成26年7月1日～平成26年9月30日)

平成26年 11月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第一四半期におけるわが国経済は、政府主導の経済政策や日銀の金融政策の効果を背景に企業収益が改善するなど、全体的には穏やかな景気回復基調が見られつつありますが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や原材料価格、エネルギーコストの上昇により個人消費の落ち込みや国内経済の下振れ懸念などにより、依然として不透明な状況が続いております。

駐車場業界におきましては、消費税増税後の消費の低下、ガソリン高の影響による自動車の乗り控えなど、相対的に厳しい事業環境が継続しました。

このような環境のもと、当社では、駐車場の料金変更及びコスト削減等の収益改善策を継続的に実施し、CPシステム運営事業では、売上高 650,516 千円(前年同期比 100%)となりました。CPシステム販売管理事業においては、消費税増税後の反動減の影響により、売上高 597,248 千円(前年同期比 100%)となりました。

プロパティマネジメント事業は、収益物件の一部売却による収入減により、売上高 61,454 千円(前年同期比 84%)となりました。

その結果、当四半期における売上高は 1,310,996 千円(前年同期比 99%^{*1})となりました。消費税増税等の影響により、前年同期比を下回りましたが、中間決算に向け全社一丸となって努力して参ります。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年同期比
CPシステム運営事業	650,516 千円	100%
CPシステム販売管理事業	597,248 千円	100%
プロパティマネジメント事業	61,454 千円	84%
その他	1,776 千円	117%
計	1,310,996 千円	99% ^{*1}

*1 前年のマンション事業を除いて算出しております。